

別紙3 評価基準

評価基準

No	評価項目		評価の視点	採点	係数	評価点
1	導入実績	受注実績	・過去3年間の導入状況 ・過去3年度における国内官公庁の導入実績	10	×1	10
2	製品／提案 内容	操作性	・利用者が直感的な操作で利用できるか	10	×1	10
3		独自提案	・東御市の業務を理解し、シナリオ作成業務を円滑に遂行できるか ・対象業務に対してRPAの設定は可能か ・本事業に関しての工夫、その他効果的な独自提案があるか。	10	×2	20
4		実施体制	・実施体制に係る人数、協力体制等のほか、有識者の配置や業務責任者の業務の経験年数は適切か	10	×1	10
5	プロジェクト 推進	スケジュール	・各種作業項目が具体的かつ現実的に明記されているか。	10	×1	10
6		指定納付／ 受諾業務	・入金サイクルや決済手数料の支払方法等、発注者の要望に適しているか。	10	×1	10
7	保守・運用	保守サポート	・事故、緊急時の対応について適切な方策が示されているか	10	×2	20
8	コスト	導入コスト	・価格提案書の額が上限金額と比較して安価であるか	10	×1	10
9		維持コスト	・令和6年度以降のランニングコストは安価であるか	10	×2	20
合 計						120

評価項目ごと、評価の着眼点や配点をもとに、提案内容の優劣に応じて付与する点数の基準を定めるものとする。

【採点】

不十分	やや不十分	普通	やや優れている	優れている
1	3	5	7	10

- 提出された企画提案書等を本基準に基づいて評価し、各評価者の評価点合計の計（総合評価点）が最も高い者を受注候補者とする。
- 総合評価点の満点は600点とする。（評価者1人あたりの最大評価点120点×評価者5人）
- 360点（総合評価点の60%）を最低基準点とし、それ以上の点数を得た者の中から受注候補者を特定する。最低基準点に満たない提案は失格とする。
- 点数が同点になった場合には、次の方法により順位を決定する。
 - 評価項目「独自提案」の点数が高い者を上位とする。
 - 前号も同点の場合は、評価項目「保守サポート」が高い者を上位とする。
- 評価者がヒアリング審査を欠席する場合には、代理者が対応し、代理者の出席が困難な場合には、書類審査をもって代える。
- 審査結果についての異議申し立ては受け付けない。